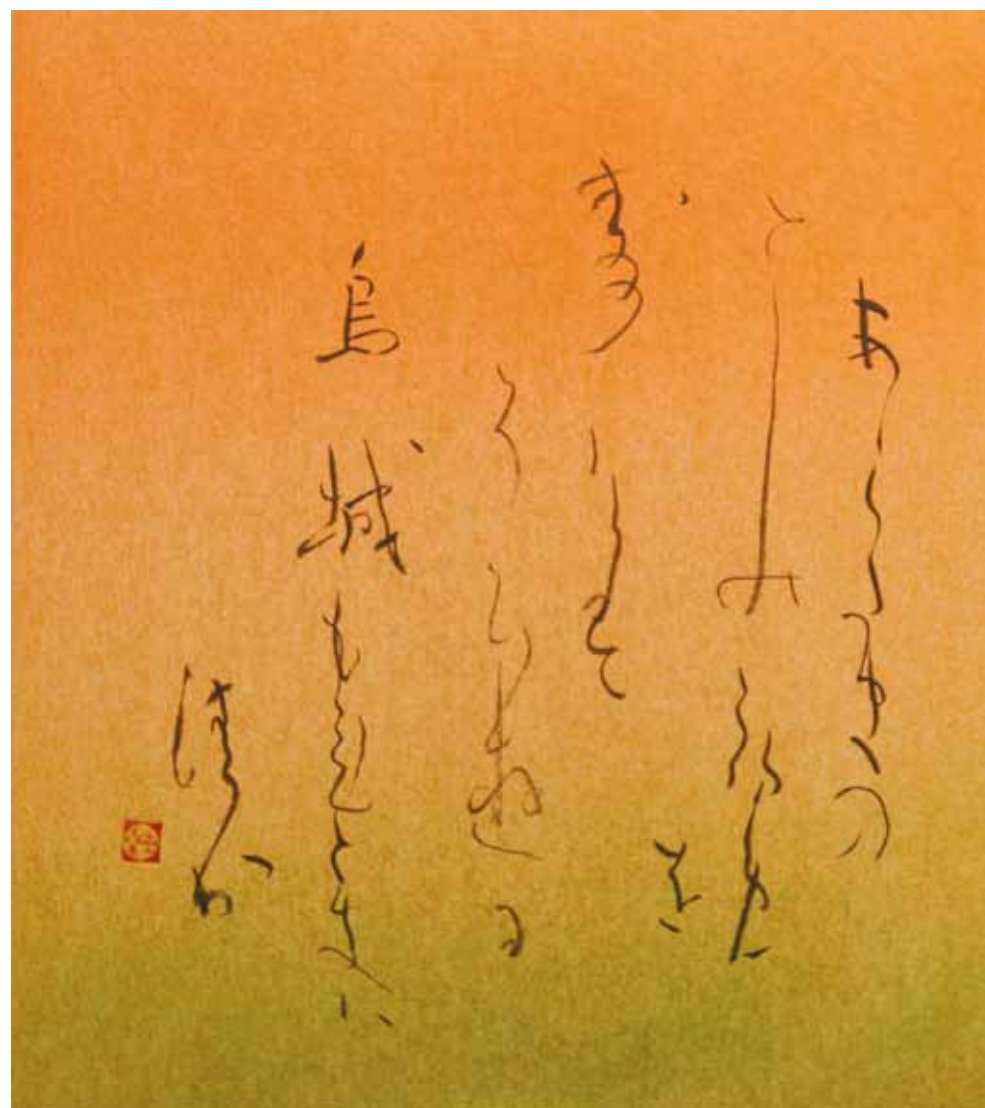


平成24年度



財団法人
マルセンスポーツ・文化振興財団

CONTENTS

ごあいさつ	1
財団法人の概要	2
役員・評議員名簿	4
平成24年度 事業報告	5
第1章 助成事業関係	
1 スポーツ活動に対する助成	5
2 文化活動に対する助成	6
第2章 表彰事業関係	
1 マルセン特別賞	7
2 マルセン賞	7
第3章 イベントの開催(協賛)	
1 スポーツ	9
2 文化	9
第4章 贈呈式	10
第5章 ホットコーナー	
ロンドン五輪で岡山勢活躍	11
生き残りをかける備前焼界	13
第6章 受賞者からのひとこと	
1 マルセン特別賞	15
福元 美穂	15
宮間 あや	16
小谷 眞三	17
森川 星葉	18
2 マルセンスポーツ賞	19
奥村 諭志	19
勝又 雅弘	20
田中 太郎	21
3 マルセン文化賞	22
池上わかな	22
作元 朋子	23
榎木 和敬	24
棚田 国雄	25
第7章 スポーツ・文化に関する広報、啓発事業	
1 ホームページの管理	26
2 機関誌「マルセン」9号の発刊	26
3 スポーツ・文化活動助成事業の広報	26
4 〈スポーツ〉活動助成金 広報実績のまとめ	27
〈文化〉活動助成金 広報実績のまとめ	28

資料

事業の記録	29
平成23年度 収支計算書	34
貸借対照表	35

表紙写真／森川星葉氏
 祝文 あらたまの年の初めを寿げば 聳ゆる鳥城もひときは清か
 裏表紙写真／作元朋子氏 作品

ごあいさつ

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、岡山県のスポーツ・文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に設立されました。お陰さまをもちまして10年目という節目を迎えようとしており、皆様方の温かいお力添えの賜物と深く感謝いたしております。

昨年は、ロンドンオリンピックが開催され、我が郷土からも多数の選手が出場いたしました。その中から5名ものメダリストが誕生するという素晴らしい結果だけでなく、出場した選手の力をつくして競う姿が、私達により深い感動を与えてくれました。皆様方の今後ますますのご活躍を祈念いたしております。

また、当財団におきましては、平成20年12月1日に公益法人制度改革に係る3法が施行されたことに伴い、公益認定取得に向けて取り組んでまいりました。お陰さまで、来期より公益財団法人として改めてスタートすることとなりましたが、活動を始めて10年という節目に当たって、今後もより効果的な活動を行えるよう役職員一同力を合わせて頑張っております。

このたび、活動の記録として、「マルセン」第9号の発刊の運びとなりました。どうぞご覧のうえご指摘を賜れば幸いに存じます。ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
理事長 千原 多美子

財団法人の概要

I 概 要

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て設立されました。

当財団は、寄附行為第3条で、その目的を「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を図るとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
 - 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
 - 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
 - 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
 - 5 その他目的を達成するために必要な事業
- を定め活動を開始しております。

II 沿 革

平成16年 2月27日	財団設立。岡山市富町二丁目4番4号に事務所を設置
平成16年 3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛 第23回山陽女子ロードレース大会
平成17年 2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年 3月11日	第1回文化イベント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会チケットプレゼントの実施
平成17年 7月14日	晴れの国おかやま国体への助成（2回目）
平成17年 8月 3日	第2回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年 4月 1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年 7月21日	第3回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 8月 4日	コミュニティライブラリーの設置(岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月 3日	川島 基ピアノリサイタルの開催
平成19年 7月24日	第4回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成19年11月 2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007」「生涯学習見本市」に出展
平成20年 3月 8日	マルセン少年サッカー教室の開催(岡山湯郷ベル)
平成20年 7月29日	第5回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成20年11月 9日	岡山県生涯学習フェスティバル2008「マルセンバルーンアート教室」の開催

平成20年12月 1日 平成21年 2月25日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる 「マルセン写真コンテスト入選作品展」岡山天満屋地下タウン 「アートスペース」において開催（3月2日まで） 「マルセン少年陸上競技教室」の開催 第25回国民文化祭おかやま2010への助成金贈呈 岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ事務所を移転 第6回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付 式の開催
平成21年 3月 8日 平成21年 6月24日 平成21年 7月17日 平成21年 7月27日	「マルセン写真コンテスト入賞絵はがき」のプレゼント マルセン少年バレーボール教室の開催(岡山シーガルズ) 「スポーツ・文化の振興についての論文」入賞者表彰式の開催 「悠久への回帰 高橋秀 展」チケットプレゼントの実施 第25回国民文化祭おかやま2010への助成金贈呈（2回目） 第7回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付 式の開催 マルセン栄誉大賞新設
平成22年 8月 5日	「マルセン小学生ソフトボール教室in岡山ドーム」の開催(平林金属女子ソ フトボール部)
平成22年 8月12日 平成22年 9月26日 平成23年 2月25日 平成23年 3月13日 平成23年 7月 8日 平成23年 7月12日	新田 佳浩氏（スポーツ大賞）理事長へ表敬訪問 「川島 基ピアノリサイタル」チケットプレゼント 「モネとジヴェルニーの画家たち」展チケットプレゼント 「バレーボールプレミアリーグ」チケットプレゼント 新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可 第8回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付 式の開催
平成23年 7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」に活動助成金交付者21団体出演（7月 26日～10月11日の毎週火曜日2団体出演）
平成23年11月 3日	「川島基&松本和将 ～スーパーピアノデュオリサタル～」演奏会の開催 （岡山シンフォニーホール）
平成24年 3月 4日	成通グループ・（財）マルセンスポーツ・文化振興財団PRESENTS 東北楽天イーグルス野球教室の開催
平成24年 3月10日 平成24年 8月27日	2012プロ野球オープン戦チケットプレゼント 第9回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付 式の開催
平成24年 9月15～16日 平成24年 9月21日 平成24年10月 5日 平成24年11月11日	「山陽新聞レディースカップ」チケットプレゼント 公益法人認定に向けて「移行認定申請書」を県知事あて提出 「前橋汀子 ヴァイオリンリサイタル」チケットプレゼント 第2回航空フェア「フライトシュミレータによる航空教室」の開催 東北楽天イーグルス少年野球教室の開催
平成25年 2月9～10日 3月2～3日	「バレーボールV・プレミアリーグ」チケットプレゼント
平成25年 3月 3日 平成25年 3月 9日 平成25年 3月18日	東北楽天イーグルス少年野球教室の開催 人形浄瑠璃「文楽」チケットプレゼント 移行認定許可

役員・評議員名簿

平成25年1月1日現在

役員名簿		
役 職 名	氏 名	会 社 名
理事長	千 原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千 原 秀 則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理 事	伊 東 香 織	倉敷市長
//	加 計 孝太郎	学校法人 加計学園 理事長
//	川 崎 誠 治	学校法人 川崎学園 理事長
//	越 宗 孝 昌	(株)山陽新聞社 代表取締役社長
//	高 谷 茂 男	岡山市長
//	吉 岡 洋 介	(財)ワコースポーツ・文化振興財団 理事長
//	千 原 行 喜	(株)成通 代表取締役社長
監 事	衣 笠 和 孜	岡山療護センター センター長
//	信 朝 寛	元岡山県審議監

五十音順 敬称略

評議員名簿		
役 職 名	氏 名	会 社 名
評 議 員	馬 越 績	馬越績税理士事務所 所長
//	大 田 弘 之	テレビせとうち(株) 取締役会長
//	北 尾 好 昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問
//	中 川 洋 一	西日本放送株式会社 岡山本社 中国総支社 支社長
//	原 憲 一	山陽放送(株) 代表取締役社長
//	平 松 掟	平松弁護士事務所（元日本弁護士連合会副会長）
//	野 崎 誠 二	岡山ネットワーク株式会社 代表取締役社長
//	宮 内 正 喜	岡山放送(株) 代表取締役社長
//	若 狭 正 吾	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
//	藤 田 土 義	(株)成通 相談役

五十音順 敬称略

平成24年度 事業報告

第1章 助成事業関係

岡山県において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するための諸活動に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成(応募総数/24件 採用件数/10件)

番号	団 体 名	活 動 名	活 動 目 的
1	伊里体育振興会	伊里地区内での体育振興事業	伊里地区民の体力向上と地区民相互の親睦を深めながら健康で明るい地域づくりを目指す。
2	岡山県トライアスロン協会	ファッションタウン児島第7回倉敷ジュニアトライアスロン大会	トライアスロン競技を通して、苦しみの中最後までやり通す事の大切さ、何事にも負けずに挑戦すればできるたくましい子供の育成。
3	邑久リーガース軟式野球スポーツ少年団	邑久リーガース軟式野球スポーツ少年団結成25周年記念大会	軟式野球を通じて青少年の心身の健全な育成に資する。
4	倉敷フレンズ	還暦野球	生涯スポーツとして、軟式野球を通じて健康増進や、還暦野球同好者の親睦を図る。
5	西大寺高等学校剣友会	第7回石原旗争奪全国高等学校選抜剣道大会	高等学校剣道全国大会(全国の強豪チーム48チーム参加)により実力向上等を図る。
6	ジュニア大会実行委員会	小学生ジュニアドッジボール大会	1 ドッジボールを通じてスポーツの楽しさを伝える。 2 ドッジボールをスポーツとして確立し、JDBA統一ルールを普及する。 3 子供たちの健全育成を図ると共にスポーツを通じ友情を深める。
7	特定非営利活動法人全日本少年硬式野球連盟オール岡山	第30回桃太郎杯記念大会	大会を通じて、選手が団結心やスポーツマンシップを学ぶと共に、他チームの選手と親睦を深めることで、青少年の健全育成と少年硬式野球の発展に寄与することを目的とする。併せて、技術・体力・精神力の向上を目指す。
8	特定非営利活動法人総社市体育協会	市民総合スポーツ祭	市民を対象とし健康増進、競技力向上、参加者同士の交流等を図り充実した一日を過ごして頂く。
9	新見市体育協会	第62回四県四郡市総合体育大会	他県(県境を接する四県四郡市)のスポーツ人がスポーツを通し文化の交流を図り親善の実を挙げる。
10	柵原スポーツ少年団	柵原スポーツ少年団	スポーツを振興し、その活動をもって団員の心身の健全育成を図る。

2 文化活動に対する助成(応募総数 /56件 採用件数/14件)

番号	団 体 名	活 動 名	活 動 目 的
1	上寺山を良くする会	「備前上寺山ー平成大修理の記録」	記録集の作成
2	荏原新九郎太鼓	文化芸術担い手育成事業	文化芸術遺産の和太鼓を後世に伝承するため、青少年による担い手育成を進める。
3	公益社団法人岡山県文化連盟	ガクサイV(おかやま学生芸術総合文化祭)	大学コンソーシアム岡山に加盟する大学に所属する次代を担う大学生の芸術文化活動を支援し、盛り上げていく。
4	岡山県民俗芸能大会実行委員会	岡山県民俗芸能大会	県内に伝わる民俗芸能を広く県民に紹介し、民俗芸能が県民の財産であるという気運の醸成と民俗芸能の後継者の育成を図ることを目的とする。
5	鶴山桜太鼓	青少年の和太鼓指導、郷土芸能の伝承、和太鼓演奏による地域イベントへの参加	郷土芸能伝承、青少年育成、自主公演
6	笠岡点字サークル	視覚障がい者支援	点訳本の作成等により障害者の情報収集、社会参加支援。
7	吉備の国文化遺産映像記録作成実行委員会	吉備の国文化遺産映像記録作成事業	岡山県の文化遺産の映像記録を作成し、学校教育現場や来館者への周知等により、本県の歴史・文化に対する理解を促進する。
8	学校法人 作陽学園	倉敷館コンサート	倉敷美観地区の夜間における魅力づくりと観光客へのおもてなし事業の一環
9	勝央図書館	勝央図書館開館10周年記念事業こども図書館フェスティバル	子どもから大人まで、住民に向け、音楽・芸能活動を通じて、読書に関わる様々な活動を実施し、各年齢に合わせて本に親しむ機会を提供し子どもの読書活動の推進を図ることを目的とする。
10	総社市文化振興財団	ミュージックインスタイル岩崎淑シリーズvol.36	総社市出身のピアニスト岩崎淑氏が35年間にわたって続けている室内楽のコンサートで、上質なクラシック音楽を提供する。
11	童謡を歌い継ぐ会	高月啓充作曲作品6000曲達成記念コンサート。ゲスト童謡歌手が歌う高月啓充の世界	虐待・暴力等子どもをとり巻く環境が厳しい現今、忘れられようとしている童謡コンサートを通して、子ども達や保護者に、優しく、思いやり、助け合う心と呼び戻し幸せなひと時を過ごしてもらう。
12	一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所	「坂本一成 日常の詩学展」の開催	建築は人間の文化の中で、総合的な製作物であるが、これまで岡山ではあまり展覧会という形式で紹介されたことが少ない。世界的に著名な坂本一成氏の住宅展によって、文化としての住宅の認識を一般に深める。
13	公益社団法人日本バレエ協会中国支部岡山県	岡山ヤングバレエフェスティバル2012	◎岡山未来の担い手、子供達へ伝統芸術であるクラシックバレエの伝承育成に力を注ぐ。 ◎著名なプロの芸術家に作品制作を依頼することによりプロとの出会いと学びの機会の提供。 ◎4年に1度の中国支部を代表しての全国合同バレエ東京公演の主品する作品を県民の皆様披露する。
14	財団法人桃太郎少年合唱団	桃太郎少年合唱団第50回記念定期演奏会	昭和37年の創立から50年目となり、それを祝して50周年記念定期演奏会を開催する。「夢のかたち」を市民やOBとで初公演することで歴史を振り返り、1年間の成果を発表。地域の青少年の音楽文化活動の振興に役立てる。

1 マルセン特別賞

平成23年度において、マルセンスポーツ賞・マルセン文化賞と同程度の功績等を挙げた団体を表彰した。

【マルセン特別賞】(副賞/30万円)

●福元 美穂 【サッカー競技】

- 2011年7月開催「ワールドカップ2011ドイツ」で日本サッカー初の優勝を果たす。W杯では、残念ながら出場機会はなかったが、正GKを献身的に支えチーム優勝に貢献した。なでしこジャパンの金メダル獲得が、震災からの復興を目指す日本国民に大きな希望の光、夢と感動を与えたその功績は誠に顕著である。

●宮間 あや 【サッカー競技】

- 2011年7月開催「ワールドカップ2011ドイツ」で日本サッカー初の優勝を果たす。全試合にフル出場、攻守の要として2ゴール4アシストで優勝に貢献した。なでしこジャパンの金メダル獲得が、震災からの復興を目指す日本国民に大きな希望の光、夢と感動を与えたその功績は誠に顕著である。

●小谷 眞三 【美術 工芸】

- 「倉敷ガラス」を作り上げ、育てた人物。機械工程の中で失われていったガラスの温かみを取戻し、柳宗悦・外村吉之介らの唱えていた「民藝の美」を体現した。また大学で教鞭をとり若手を育成するなど、後に続く者への細かい配慮も特筆すべきである。

●森川 星葉 【美術 書道】

- 5歳から書道を始め内田鶴雲、高木聖鶴両氏に師事。日々研鑽・努力により書風は、優雅さと流麗さを兼ね備えており、これまで全国的な書道展等で数々の賞を受賞する等活躍を重ねており、なかでも平成21年には中国地方ではじめての女流書家として日展審査員に就任する快挙を果たすと共に県書道連盟等の要職を担うなど県の芸術文化振興に大きく貢献している。

※ マルセンスポーツ大賞マルセン文化大賞の該当者なし。

2 マルセン賞

平成23年度 スポーツ活動において、優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に貢献した個人、団体並びに文化活動において、文化の振興に貢献した個人、団体を表彰した。

【マルセンスポーツ賞】(副賞/30万円)

●奥村 諭志 【自転車競技】

- 平成22年第65回国民体育大会自転車競技 少年男子ケイリンで初優勝して以来、平成23年度はJOCカップ、インターハイ、都道府県対抗、国民体育大会と主要全国大会の全てで優勝を果たした。駆け引きが結果を大きく左右するケイリンで執拗なマークを受けながらも力で圧倒して勝利を収めた。この種目で全国大会を5連勝した選手はいない。また、ロシアで開催されたジュニアトラック世界選手権大会では、ジュニア日本記録を樹立するなど岡山県自転車競技の隆盛を高めるとともに、今後のさらなる飛躍が期待される。

●勝又 雅弘 【陸上競技振興】

- 倉敷高等学校は、全国高校男子駅伝競走大会出場を目指す高校の中で、県内選手を中心に、最多の34年連続出場を成し遂げると共にエース不在ながら伝統の全員駅伝で、岡山県勢悲願のメダル獲得を果たした。その卓越した指導力により、卒業生の中から箱根駅伝や実業団で活躍する多くの選手を輩出するとともに、県下男子高校駅伝界の牽引者となり陸上競技の普及・発展に努めている。

●田中 太郎 【ウェイトリフティング競技】

- 平成23年5月の世界ユース出場、8月岩手で行われた全国高等学校総合体育大会ウェイトリフティング競技男子85Kg級において、スナッチ130Kg で大会記録、クリーン&ジャーク、トータルでも優勝。また、10月に開催された第66回国民体育大会においてウェイトリフティング競技少年男子85Kg級スナッチで137Kgを挙げ、高校新記録及び大会記録を更新、クリーン&ジャーク、トータルでも優勝を飾った。平成24年春、大学へ進学し、競技を続けており今後ますますの活躍が期待されている。

【マルセン文化賞】(副賞/30万円)

●池上 わかな 【美術 洋画】

- 日展で10回の入選、創元会でも入選のほか柏賞、東京都知事賞、準会員賞、会員賞、損保ジャパン美術財団奨励賞などを受賞し、年を追って実力を伸ばしてきた。さらに今回第43回日展第二科(洋画部門)で「光差す時間」が見事特選に選ばれた。選評は「風化した壁と服のノスタルジックで、幸せを願う青い鳥が忍び寄る。象徴的な秀作」と評価された。今後の活躍が期待される若手のひとりである。

●作元 朋子 【美術 陶芸】

- 今回、ファエンツァ国際芸術陶芸展で「FORM101 FROM7」がグランプリと同列のチエルサイエイエ賞を受賞。審査員からは「独自の技法による形と色の取り合わせがモダンで洗練している」と評価された。今後ますますの活躍が期待される。

●柁木 和敬 【音楽 声楽】

- 日本人として数少ないオペラ歌手の中にあって、世界に通用する日本人離れした容姿と豊かな声量に恵まれ、この資質と感性で本場イタリアの歌劇場でもその実力が認められている。日本では、東京、大阪でも主役で活躍する他、故郷、岡山では声楽界の中心として音楽界をリードする存在である。今後ますます世界に羽ばたくことが期待される。

●桃太郎少年合唱団 【音楽 合唱】

- 平成38年年11月の第1回定期公演から継続して49回にわたりレベルの高い定期公演を開催している。この間、ウィーン少年合唱団の他、ホノルル少年合唱団・洛陽少年合唱団・北京新月少年合唱団等とのジョイント、あるいは外国少年合唱団との交歓会を通して国際交流の促進に努めている。岡山での全国規模の大会や県内の代表的な県民文化祭フェスティバルへの出演などとともに東日本大震災応援合唱コンサートを開催する等社会貢献も果たしている。50周年の節目に更なる活躍が期待されるところである。

第3章 イベントの開催(協賛)

1 スポーツ

- 山陽新聞レディースカップ チケットプレゼント
平成24年9月15日(土)～16日(日) 東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ
招待者 120枚(応募者153通)
- 第2回 航空フェア2012(協賛)
平成24年11月11日(日) 岡山県岡南飛行場
フライトシュミレーターによる少年航空教室 106名
- 成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス少年野球教室
平成24年11月11日(日)倉敷マスカット球場(雨天のため室内練習場)
参加者 29チーム 約200名 講師 楽天ゴールデンイーグルス 島内 外野手・銀次 内野手他6名
- 第31回山陽女子ロードレース大会(協賛)
平成24年12月23日(日・祝)開催 岡山市内
- 女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 チケットプレゼント
平成25年 2月 9日(土)・10日(日) 笠岡体育館 招待 各10名(5組)(応募数228)
平成25年 3月 2日(土)・3日(日) 桃太郎アリーナ 招待 各30名(15組)(応募数304)
- 第61回備前市えびす駅伝競走大会(協賛)
平成25年2月11日(月・祝)開催 備前市内
- 成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス少年野球教室
平成25年3月3日(日)倉敷マスカット球場 参加者 4チーム 95名

2 文 化

- 第8回沙美アートフェスタ(協賛)
平成24年5月12日(土)開催 倉敷市沙美海岸(50作品)
展覧会 倉敷市立美術館第1展示室 平成24年8月21日(火)～26日(日)
- マルク・シャガール展 ー愛をめぐる追想ー チケットプレゼント
平成24年7月13日(金)～8月26日(日) 開催 岡山県立美術館
招待 102組(204名)(応募数 479通)
- 前橋汀子ヴァイオリンリサイタル チケットプレゼント
ピアノ：松本 和将
平成24年10月5日(金) 開催 岡山シンフォニーホール
招待 25組(50名)(応募数 275通)
- 倉魂!高校生コミック・イラストコンクール2012(協賛)
平成24年10月6日(土)～28日(日) 加計美術館 100点展示 応募(300点)
- (公社)岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成)
平成24年10月6日(土) ルネスホール
講演／「福祉と文化」
講師／社会福祉法人旭川荘 江草 安彦氏 演奏／桃太郎少年合唱団
平成24年11月17日(土) 天神山文化プラザホール
講演／「本物の、心に残る音楽を」
講師／ヴァイオリニスト 守屋 剛志氏 演奏／ピアノ 中山 恵氏
- マーチング・イン・オカヤマ(協賛)
平成24年10月7日(日)～8日(祝・月)
場所 岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園
岡山市総合文化体育館……メイン会場
- 人形浄瑠璃「文楽」チケットプレゼント
平成25年3月9日(土) 倉敷市芸文館 招待 10組(20名)(応募数174)
- 美作国建国1300年記念事業(助成)
平成25年3月22日(金)

第4章 贈 呈 式

- と き 平成24年8月27日(月) 午前11時より
- ところ ホテルグランヴィア岡山「フェニックス」の間
- 式次第
 - 1 開 式
 - 2 あいさつ
 - 3 来賓祝辞
 - 4 表彰状及び副賞贈呈
 - 5 受賞者代表あいさつ
 - 6 助成金交付
 - 7 助成金受領者代表あいさつ
 - 8 閉 式



ロンドン五輪で岡山勢活躍

岡山ゆかりのアスリートが大きな感動をもたらした。昨年7、8月に行われたロンドン五輪で、岡山勢8選手のうち5選手がメダリストとなった。1大会では岡山県の過去最多を記録した。

女子サッカーの日本代表・なでしこジャパンは前年のワールドカップ（W杯）覇者として臨んだ。国民の期待を背に善戦し、五輪では初めてのメダルとなる銀メダルを獲得。その中で、攻守の要となったのが岡山湯郷ベルのMF宮間あや選手（27）とGK福元美穂選手（29）だった。

宮間選手は、主将で司令塔として、ピッチ内外でリーダーシップを発揮した。チームを一つにまとめ上げ「メダルがメンバーの絆の証し」と誇らしく話した。大会直前に定位置だった左MFから右MFに移されたが「チームの勝利のため」と奮闘。全6試合に先発し、初戦のカナダ戦はヘディングでゴールを挙げ、準決勝のフランス戦は正確なFKで貴重な2得点を生み出し、メダルを確定させた。

守護神として数々のピンチを救ったのが福元選手。世界一になった2011年のW杯は控えGK。「もう一度ピッチに立つ」と強い決意で臨んだ2度目の五輪は、正GKの「背番号1」を取り戻し5試合に出場した。中でも準々決勝のブラジル戦、準決勝のフランス戦での存在感は際立った。素早い反応で好セーブを連発し、高いボールにもパンチングで対応。堂々と日本のゴールを守った。

バレーボール女子の山口舞選手（29）＝岡山シーガルズ、荒木絵里香選手（28）＝東レ、倉敷市出身＝の2人は、日本の28年ぶりとなる銅メダル獲得に貢献した。

岡山シーガルズから初の五輪選手となった山口選手は、初めて日本代表入りした09年から3年半で迎えたロンドン五輪。「真鍋監督とともにメダルを目指してきた集大成」と振り返る。176センチの上背は世界を相手にすると見劣りする。だが、そのハンディを補って余りあるのが



サッカー女子で主将として銀メダルを獲得した宮間選手



なでしこの守護神として銀メダルに輝いた福元選手

スピードだ。得意の移動攻撃に入る速さ、守備でボールに飛び込む素早さも併せ持つ。ロンドンでもその姿は輝きを放った。「五輪のメダルは岡山でバレーボールを始めたころからの夢。メダルを持ち帰れてうれしい」と思いを語った。

荒木選手は、186センチの長身を生かしたブロックや速攻で難局を切り開いた。勝てばメダルに大きく前進する準々決勝の中国戦。第1セット23－24からダイレクトスパイクを決めて逆転につなぐと、最終セットは16－16のジュースから豪快なアタックで勝機を引き寄せた。銅メダルを懸けた韓国との3位決定戦でも躍動した。倉敷北中から東京・成徳学園高に進み、高校3冠達成。東レ入りし、人気選手になっても原点は岡山に変わらない。メダル獲得で「恩返しできた」と笑顔を見せた。

ボクシングで日本勢4年ぶりの銅メダルを獲得したのが男子バンタム級の清水聡選手（26）＝自衛隊体育学校、総社市出身、関西高－駒大出＝だ。

クールな男がリングで雄たけびを上げた。同級準々決勝でアルジェリアの選手に勝った瞬間だ。続く準決勝で敗れたものの、銅メダルを手にした。無念の初戦敗退を喫した北京に続く2大会連続の五輪では、長いリーチを生かした持ち味のアウトボクシングを発揮した。2回戦は、一時、判定負けとされたが提訴したことで勝利者となった。「まさに地獄から天国へ行く気持ちだった」と振り返る。準々決勝は2回まで劣勢ながら、最終3回に相手の反則で「ポイントで上回ったと確信した」。無理に攻め急がず、メダルを決めた。

メダリストとなった5選手は、東京銀座のパレードで熱狂的な歓迎を受けた。岡山に凱旋し、祝賀会や表彰式などに登場し、メダルを披露。あらためて県民の応援に感謝の思いを伝えた。

（本文、写真ともに山陽新聞社提供）



バレーボール女子で銅メダル獲得に貢献した山口選手



主将としてバレーボール女子銅メダルを手にした荒木選手



ボクシング男子バンタム級で銅メダルをつかんだ清水選手

ホットコーナー

生き残りをかける備前焼界

東京・ミッドタウンで情報発信 展覧会や茶会 もっと親しまれる道探る

釉薬を使わず土と炎だけで美を生み出す備前焼は、鎌倉時代からの歴史を誇り、日本人に最も愛されてきた焼き物ともいわれる。日本六古窯の一つ、金重陶陽、藤原啓、山本陶秀、藤原雄（以上故人）、伊勢崎淳と、一つの窯場で人間国宝を5人も輩出するなど、岡山県を代表する工芸品として繁栄してきた。1972年の山陽新幹線岡山開業を機に、旧国鉄の観光キャンペーン“ディスカバー・ジャパン”の波にも乗り、主産地・備前市伊部に客が押し寄せる人気で県外からも作家志望の人々が集まり、作家らで組織する協同組合岡山県備前焼陶友会が97年に行った調査では、作家数は県外在住も含めて435人にも上った（「備前焼実態調査報告書」）。だが、長引く景気低迷は暗い影を落としている。「全盛期（1990年代）の販売額の3分の1程度」（同陶友会）という深刻な販売不振の中、苦境を打破しようと、同陶友会（木村宏造理事長）が、新たな動きを展開している。

今年2月1日、東京都港区の複合商業施設・東京ミッドタウン。備前焼の市場開拓を狙う「備前焼展」が約1カ月開催された。「至高の備前」「普段づかいの器」「ギフト」の3テーマで展示販売。



今年2月、東京・ミッドタウンで岡山県備前焼陶友会が開催した2回目の「備前焼展」会場

前焼振興を図る県備前県民局と連携して備前焼活性化研究会を立ち上げ、前年の7月には中堅、若手作家を中心とした市場開拓特別委員会を設立。10年後の売り上げを全盛期に近い2.5倍にする「10年ビジョン」実現に向けた振興策を模索してきた。

そこで実現したのが、東京の、これまでの主要販路である百貨店でなく、高級ブティックやブランド店が並ぶミッドタウンの工芸品店での展覧会。30～40代の女性と外国人に狙いを絞った展覧会であり、期間中は、自宅でのもてなしを想定した現代スタイルの「大茶会」も実施した。

初回だけに、展覧会には、伊勢崎淳さんをはじめ、作家や窯元ら全175会員のうち173会員が、とっくり、ぐい飲み、皿など食器を中心にえりすぐりの1点を出展。作家の作品には、顔写真や



昨年2月、東京・ミッドタウンで岡山県備前焼陶友会が初めて開催した「備前焼展」会場

胡麻（ごま）やさんざりなど特有の焼けを解説したパネルが展示される中、人間国宝伊勢崎淳さんの黒茶わんや緋襷（ひだすき）が映える皿から、数千円の酒器やコーヒーカップまで会員61人の多彩な約190点が並ぶ。「備前焼は初めて見るが、焼き上がりに味がある。日常で使えそう」と話す客らが興味深そうに見入っていた。

流行の発信地に乗り込む東京ミッドタウンでの「備前焼展」は、昨年2月に初めて開催され、今回が2回目だ。同陶友会は、地域の伝統産業としての備

陶印を紹介したラベルも添えて展示販売した。4、5の両日には伝統茶道から現代スタイルまで10の茶席を設ける「備前焼大茶会」を開催した。

焼き物ファンや茶人から通りすがりの若者、外国人まで、多様な人々が、展示された作品に熱い視線を注いだ。来場者の多くは備前焼に触れるのが初めての様子で、「モダンな食器もあるんですね」「こんな色も備前焼ですか？」。また、湯飲みやコーヒーカップ



昨年2月、「備前焼大茶会」でコーヒーを振る舞う亭主役の女性

を手に「意外に軽くて使いやすそう」、「会場に来て作家の数の多さに驚きました」。人気を集めた茶道や紅茶など和洋の茶席では、「ごつごつした印象が強く、口を付ける器は使ったことがなかった。でも、実際は口当たりが柔らかく、味もまろやかに感じた」、「備前焼のわびた感じはモダンな空間にも合う」、「備前焼をもっと知りたいと思っているが、東京では情報も作品も少ない。こんな展覧会をもっと企画してほしい」と希望のもてる感想も多かったという。

同陶友会の木村宏造理事長は「備前焼を知らなかった人が興味を持ち、使ってみたいと言われるのが何よりうれしい」と熱い反応に笑顔を見せ、「受け継いだ伝統に誇りを持って物作りに励み、その良さを伝える努力を惜しまないことが大切。今回の企画を将来への第一歩にしたい」と力を込めていた。

東京だけではなく、作家や窯元が集中する備前市伊部一帯を会場に大茶会の第2弾「備前焼大茶会2012— 一期百笑（いちごひゃくえ）」を昨年5月に開催した。同展で備前焼に関心を抱いた陶芸ファンの地元呼び込みを狙った初の試み。4日は



昨年5月、備前市で開催された「備前焼大茶会2012— 一期百笑」の一会場

市内の作家・窯元の茶室など11カ所で、裏千家、表千家など各流派による備前焼の器を使った伝統的茶会を実施。5日は備前、瀬戸内市の陶友会会員宅など20カ所を会場に、自慢の作品に入れたコーヒーや煎茶などで参加者をもてなし、窯や工房も案内し好評だった。

今後もこうした試みが続く模様で、木村理事長は、「売り上げがすぐに好転するわけではないだろう。国内だけでなく、海外への視線も重要だし、百貨店やギャラリー以外の販売拠点も必要になってく



昨年2月、会場で現代スタイルの茶席を楽しむ備前焼ファンら



木村宏造・岡山県備前焼陶友会理事長

（本文、写真ともに山陽新聞社提供）

第6章 受賞者からのひとこと

マルセン特別賞

マルセン特別賞受賞にあたって

岡山湯郷Belle 福元 美穂

この度は栄誉あるマルセン特別賞をいただき大変光栄に思っているのと同時に、たくさんの方々に感謝しております。

北京オリンピック後に大きな怪我をしてしまいましたが、チームスタッフ、チームメートの支えのおかげで復帰することができ、2011年ドイツで開催された女子サッカーワールドカップになでしこジャパンの一員として参加し、優勝することができました。試合に出場する機会はなかったのですが、そういう時間を過ごす中で怪我をして以降本来の自分らしさを発揮できていないのではないかと感じ、改めて自分の良さであったりスタイルというものを考えることができました。

ワールドカップでの優勝後、岡山や美作に帰ってきた時には多くの地元の方々の温かいお言葉が本当に嬉しく、それと同時にもっともっと自分らしさを突きつめながら岡山湯郷Belleのために成長したいと思いました。オリンピック予選などもありましたが、その後の国内リーグ戦などを含め、岡山湯郷Belleのチームメートと一緒に戦いながらそして、支え合いながら、お互いの成長を助け合うような活動ができているように感じます。そういったことから、チームメート、チームスタッフ、地元の方々の支えがあってこそ自分が存在していられるのだと強く思います。感謝の思いしかありません。また、出身地である鹿児島県にもたくさんの岡山湯郷Belleファンがいっぱいます。その方々のためにも、このすべての感謝の思いを形にすべくチーム一丸となって優勝目指して頑張りたいと思います。



これからも感謝の気持ちを忘れずに地元で愛される岡山湯郷Belleであり続けたいと思います。今後共、温かい声援をよろしくお願いします。

マルセン特別賞

マルセン特別賞受賞にあたって

岡山湯郷Belle 宮間 あや

まずはじめに、改めましてこのような名誉ある賞をいただき大変光栄に思っております。

2011年7月、ドイツで開催された女子サッカーワールドカップで優勝した後、初優勝の余韻に浸る間もなくロンドンオリンピックのアジア予選がありました。この頃には色々な周囲の変化に少なからず戸惑いを感じていましたが、私には岡山湯郷Belleでもチームメートである福元選手が常に側にいたこと、女子サッカーが世間で注目される前から親身になって支えてくれる地元の方々がいてくれたことで、自分自身を見失うことなくオリンピック予選を戦うことができたように思います。また、岡山湯郷Belleにおきましても、いわゆるなでしこフィーバーという今までに経験したことのない熱狂の中で起きてくる様々な事象を、チームスタッフの方々は熱心にかつ冷静に対応し続けてくださいました。現在に至りましても、それは変わらずにご尽力くださっています。それから、選手にとってもワールドカップ以降のリーグ戦などでの急な周囲の変化や、色々な事に戸惑うこともあったと思いますが、種田監督、福元キャプテンを中心に更にチームの方向性や結束を強めたように感じます。そんなチームメートがいることをとても幸せに思います。

これらのことを考えると、私は常に周りの方に支えられてサッカーをさせてもらっているんだなと改めて強く感じます。

今回ワールドカップで優勝したメンバーに私や福元選手が入っていたことによって、これまで岡山湯郷Belleを支え、応援してきてくださっている皆様と少しでも喜びを分かち合えたなら嬉しく思います。やはり岡山湯郷Belleの日本一や様々な感動の瞬間を皆さんで共有したいと思っています。そのために益々精進していきたいと思っています。

これからも温かいご声援をよろしくお願いします。



マルセン特別賞

ガラスを吹く「コップの仕事」

ガラス工芸作家 小谷 眞三

一口にガラスの仕事と言っても、その関係の人でも理解できない位の種類があります。私のように鳥の羽一枚くらい軽い製品の仕事をミリメートル単位でやってきたものを、突然訪ねてこられた方が、百倍以上の重さのコップを作ってくれと言われても、その時は「出来ない」と答える以外になかったのです。

何故、そんな無理な要求をしてまで手仕事のコップが必要だったのでしょうか。

昭和30年代後半に、万能機械が我が国に入り、ガラスコップが日産30万個も生産されるようになり、強く握れば潰れる金メッキのコップが充満して、文化を考え守ろうとする人達の心を不安にしました。そして一介のガラス工人に白羽の矢が立てられたのが、「倉敷ガラス」の起源であり、気まぐれな思いつきのだけの仕事ではありませんでした。

ガラス製品は、例え試作でも莫大な資本を必要とし、私は突然押しつけられた強烈な動きに巻き込まれて、途方に暮れました。

しかし私は、外村吉之介師の「民藝理論」が、お会いする度に重ねて話して下さる接し方により、次第に私の心の恐れやこだわりを溶かして、いつの間にかコップの仕事に精進するようになっていました。

だんだん全国に沢山の愛好者・支援者がふえて、工夫の積み重ねによる新しい器も生まれ、種類もふえました。

こうして他人様の喜びを吾が喜びとして仕事ができるのは、「民藝理論」のお陰であり外村師のご教示によるものです。

1989年のある時に、外村師は、「もう私に伺いを立てる事はない。自分の判断で何でもやってよらしい」と宣託された。それから5年後、師を見舞った時に声を上げて泣かれた真意が、今頃になって理解できる気がする。“昔のように対話できなくなった”と嘆かれたのでした。

この40年の間、様々にお世話になった各方面の皆さまに、心から御禮を申し上げ、終生尽きる事のなく、この仕事を大事にしたいと思います。



マルセン特別賞

マルセン特別賞 いただいて

書家 森川 星葉



岡山に嫁いで、半世紀以上の年月が流れた。5才の時から、父のすすめで始めたお習字が、恵まれた師の出会いで、良き先輩、同志、書を通して出会った多くの皆様、温かく応援してもらった・亡き主人のお陰で、一つの道に精進出来たことが、マルセン特別賞につながったと手を合わせている。書を通じての幸せな出会いも数あれど悲しい別れも多々あり、現在の心中複雑である。「生涯今が大事」を一つの信念で、一本の道歩んで来たが、77才 喜寿の歳になって、日暮れて遠しの感が離れられない。やり残したことばかりで、ゆっくり自分をみつめて来ただろうか？ 今は心の時間がほしい心境である。これからは、自分の本当の肩巾に合った仕事で、もし少しでも、お役に立つ事が有るとしたら最後の人生で、今迄のご恩返しの真似事でもしたいと思う。共に私と手を合わせて歩んでくれた亡き主人も、きっと同じ気持ちで見守ってくれていると思う。原点にもどって長期高齢化がますます進んでいる日本国、筆で進行に少しでもマッタが、かけられるとしたら、私の勉強も何かのお役に立てるのではないかと考えている。そして文字離れの子供達に、伝統文化である書を通して、心の平和精神が伝えられたらと、夢見ている昨今です。





マルセンスポーツ賞

マルセンスポーツ賞を受賞して

鹿屋体育大学 奥村 諭志

この度は、マルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。

受賞の驚き、喜びと同時に身の引き締まる思いです。

私は今現在、生まれ故郷の岡山を離れ大学進学しています。

進学してからの主な成績は、西日本学生選手権トラック自転車競技大会において、ケイリン優勝、普及一キロタイムトライアル優勝、チームスプリント優勝、全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレースにおいて、ケイリン優勝、一キロタイムトライアル4位などです。

鹿児島の鹿屋体育大学に席を置き、恵まれた練習環境の中、自転車競技に励んでおりますが、技術向上は無論、常に最高のレース、最高位の結果を意識し、日々、精進しています。思えば高校時代には恩師川口先生にご指導して頂き、私にとりまして川口先生との出会いが財産になっておりますし、また、岡山を離れた今、郷土岡山から皆様より応援頂ける事が本当に励みで、受賞には心より感謝いたしております。

私は、今年満20才を迎えますが、自転車競技を通して人としても更に成長できるように志高く、競技力向上に努める決意です。

また、一社会人としても賞を頂いた事を励みにしていきたいです。

さらに、応援して下さいますマルセンスポーツ文化振興財団様、皆様方に、ベストレースをもって報い、自転車競技の素晴らしさ、奥深いレースのケイリンは日本発祥のスポーツだという点も、色々な方々にもっと知って頂き、スポーツをする喜びを広げていきたいです。

今後の競技生活もオリンピック出場を目指し、精一杯頑張ります。

どうぞ、今後とも皆様の温かいご声援、ご指導下さいますようにどうぞよろしくお願いいたします。



マルセンスポーツ賞

マルセンスポーツ賞受賞にあたって

倉敷高等学校 勝又 雅弘

この度は、名誉あるマルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。このような栄誉に浴することができたのは、偏に皆様のおかげだと感謝いたしております。

昨年の全国高校駅伝競走大会では準優勝することができ、私自身も驚きでした。(実力では2位になれるようなチームではありませんでした。)前評判では入賞予想にも本校の名前はあがっていませんでした。レース3日前、1区と決めていた選手の左足くるぶしの外側に痛みが出たため、選手に告げていたオーダーを白紙にし、レース前日1区と決めていた選手の出場をどうするかを、3年生に話し合いで決めさせました。予定していた選手本人が「走る。」と言い、3年生も「何とかチーム全員でカバーします。」と言ったので、私も選手達の意思を尊重しました。京都入りしてから3回書き換えたオーダーでしたが、もともにもどり私の理想のオーダーでした。レースがスタートし、1区の選手は、強い向かい風とスローペースとなった集団の後方に付け、無駄な動きをせずに体力を温存し後半スパートをして、3位でタスキを繋いでくれました。

どうなるか不安だった1区が、持っている力以上に力を発揮し、それで後続の選手の不安だった気持ちが一気に吹き飛びました。そこから自信に変わり各区間の選手が見違えるような走りをして準優勝することができました。これは1区の選手のケガでチームに絆が生まれました。1区の選手の分を、「俺達でなんとかしよう。」とチームが結束しプラスαの力が生まれ、どんどん流れに乗りました。今回のレースで選手の未知の力と強い絆の力には驚かされました。これも、日頃から皆様のご支援、ご声援のおかげだと感謝いたしております。

最後になりましたが、この受賞にあたりご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、マルセンスポーツ・文化振興財団の今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



マルセンスポーツ賞



マルセンスポーツ賞受賞にあたって

九州国際大学1年 田中 太郎

この度は、マルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。

昨年は、8月に開催されたインターハイでスナッチとクリーン&ジャーク、トータルにおいて優勝し、10月に開催された国民体育大会で完全優勝し、スナッチ日本高校新記録を記録しました。高校3年生の最後の大会で、大きな記録を作ることができ、とても楽しかったというのをよく覚えています。

今年度から大学生になり心機一転頑張っています。まだ1年生ということではいろいろとうまくいかないことだらけですが、少しずつコツコツとがんばってまたいろいろな人たちから「強い」と言われるようになりたいと思っています。

高校3年生のときの経験で、私の競技力は数倍になったと思っていますし、また人としても随分成長することが出来た一年だと思っています。そのようにとても大きく成長できた一年に対して、マルセンスポーツ賞を受賞させていただき、自分が頑張ったことを評価していただいたようで、とてもうれしいです。

これからも大学生としていろいろな大会に出場し経験を積み、最終的には、リオデジャネイロで開かれるオリンピックに出場できるような選手になりたいと思います。

今後ともご支援ご声援のほどお願い申し上げます。



マルセン文化賞



マルセン文化賞受賞にあたって

洋画家 池上 わかな

この度は「マルセン文化賞」という栄えある賞を頂き、誠にありがとうございました。これもひとえに、至らない私を支え続けてくださった諸先生方、先輩方、仲間たちのお陰だと深く感謝しております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

ここ数年、私は自分の作品への不安からモチーフを変え模索し続けていました。しかし、それでも満足はいく作品にはほど遠く、原点に還る気持ちで、本来私が取り組んでいたモチーフへと戻りました。純粋に私が描きたいものを描く。そして、描いて描きまくる先に私らしさと何かが見つかる信じて。そういった格闘の末に「日展特選」という思いがけない賞を頂き、そして今回の受賞に到りましたことは本当にありがたく、大変励みとなりました。

もちろんまだまだこれからだと思います。これからの道のりも決して平坦なものではなく多くの荒波が待っていると思います。それでも「考え込むくらいならば描けばよい。どうすればよいかわからなくなっても描き続けていれば、絵が自然と教えてくれる。」という恩師の言葉を支えに、これからもどんどん絵の具と格闘してゆきたいと思います。そして、今回の賞に恥じない作品づくりを目指してゆきたいと思います。

最後になりましたが、今回の受賞にあたりご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。



マルセン文化賞



マルセン文化賞受賞にあたって

陶芸家 作元 朋子

私は、陶芸作家として磁器のオブジェを制作し、発表を行っています。マルセン文化賞を表彰をされることになった昨年度の第57回ファエンツァ国際陶芸展のチェルサイエ賞受賞という成果は、私にとって自信を持てるようになった結果でした。昨年度実際にイタリアへ行き、世界中の現代陶芸を見ることで、今まで岡山で培ってきた自分の力が世界で通用するものになっていたのだと体感することができました。その経験は、陶芸を志す上で、日本人であることがどれだけ恵まれた環境や美意識を与えられているのかを改めて感じることでした。小さな日本の中で地域に根ざしたやきものは今も脈々と受け継がれ、ひしめきあっています。作家は、その環境の中で自分の個性を表現するために様々な工夫と創造性で美を競い合い、切磋琢磨しているのです。私も微力ながらその一員として、これからも自分だけにしかできない表現を求めて頑張っていこうと思います。

やきものは、どれだけ手をかけ時間をかけて作り込んでも、最後、窯で焼成するという工程を通さなければなりません。土から陶芸作品に変換されるという最も重要な時に、実際に手を出すことが出来ないのです。それがもどかしくもあり、自分の手を離れて作品が生まれるという瞬間でもあるような気がします。窯のふたを開け、初めてその作品として生まれた姿を見ると、今までやってきた成果と、まだ多くの問題点があるということを作品が私に突きつけてきているような気がします。100%満足することは決してありません。それが次への課題であり、今の自分の精一杯であるのだと思います。まだ未熟であることが制作を続けさせるモチベーションであり、また、この度のマルセン文化賞という栄えある受賞は、私をこの道で間違っていないと背中を押してくれる強い味方となってくれています。



マルセン文化賞



マルセン文化賞受賞にあたって

声楽家 桎木 和敬

この度はマルセン文化賞をいただき誠にありがとうございました。

この十数年、イタリアと日本を行き来しながら、演奏会を通じてイタリアの文化を日本に紹介したいと思い活動してきました。10年以上のヨーロッパでの演奏活動で、ヨーロッパではクラシック音楽のみならず、食文化、風土、人のコミュニティ、それらの全てがリンクして生きた文化を成形していると実感しました。

私がイタリアに留学したのは、ある講習会で知り合った国際的に活躍していたイタリア人テノール歌手の勧めで、ちょうどイタリアがユーロに変わる少し前にイタリアに渡り、ヴェネト地方の彼の実家であるワイン農場に住み込みで下宿しながら勉強を始めました。その生活は色々なものが私が想像していたアーティスティックな最先端のイタリアとは違い、とても素朴でシンプルで、何より感じたのは最大の娯楽は人と人との交流であるということでした。

それはその後、居をミラノに移したあとも同じでした。ミラノはイタリアオペラの殿堂スカラ座があり、音楽のみならずアート、ファッション、建築、あらゆる分野の世界一が岡山の市街地ぐらいの大きさの街にひしめきあっている街です。しかしながらここでも文化はCDやテレビからではなく劇場やレストランなどの人と人が直接交流する場所で生まれていました。

オペラハウスはあらゆる人たちが集えるように1000円足らずの席から2万円ほどまでの様々な席があり、4幕構成のオペラでは各幕間で30分ずつ休憩があり、休憩中は劇場のサロンでその日着てきたファッションやオペラの出来を話し合います。そこにはオペラマニアの集りではなく、大人の社交場として存在しています。そして劇場のまわりには様々なタイプのレストランが立ち並び、劇場の演目があるときは閉店時間を変更して営業しています。観客たちは劇場から出たあともそれぞれの好みのレストランで幕間のサロンの続きをし、ウィンドウショッピングをしながら帰るのです。人間、音楽、ファッション、食文化と様々なものがリンクしてはじめて生きた文化になるのです。

残念ながら、日本ではまだそれぞれのものがブランド化して入ってきますが、それらがリンクしてはいきません。

私はこのマルセン文化賞を頂いて、日本に西洋文化を伝えるという行為をあらためて考えるべきであるという思いを感じています。

個々のネームバリューに頼ったプレゼンテーションではなく、街とリンクした生きた文化、育っていく文化としての演奏活動を行っていけたらと思います。





マルセン文化賞

創立50年の歩み、そしてこれから

桃太郎少年合唱団 団長 棚田 国雄

この度マルセン文化賞をいただき大変ありがとうございました。桃太郎少年合唱団は昭和37年の岡山国体開催記念として創設されてから、50周年を迎え、記念式・記念誌発行・記念定期演奏会開催などを、多数のOBの皆さんの支援をいただき行いました。創立からの練習・活動の本拠地は県立児童会館でしたが、今はもう改築されて別のものになっていくようです。50年という年月は時代をすっかり変えてしまうものなのかと、しみじみ考えさせられます。団の創立当時は、年ごろの少年たちが我もわれもと押しかけて入団テストを行ったものでした。また、海外の有名少年合唱団と交流したり、海外公演も盛んに行うことができました。

現在少子化は日本の大きな社会問題ですが、少年合唱団にとっても団の運命を左右する大問題です。50年前には約40団体あった日本の少年合唱団は現在10団体に減少しており、さらに運営が極めて困難になりつつあるのが日本の現状なのです。

本団創立から現在まで50年間にわたり団の育成に関わってきて、時代の大きなうねりがありにも大きいことに驚きます。でも、この波のうねりの中で、生き生きと音楽活動に取り組む子供たちを育てなければならぬと強く感じています。



第7章 スポーツ・文化に関する広報、啓発事業

1 ホームページの管理



- 平成23年 7月30日 ホームページのリニューアル
- 平成23年10月13日 新CMの開始(成通グループ提供)
- 平成23年10月18日 トップページCM映像更新

2 機関誌「マルセン」9号の発刊

3 スポーツ・文化活動助成事業の広報

- ラジオ番組への出演 番組提供 (株)成通グループ

RSKラジオ パーソナリティ:石田 好伸

「おかやま朝まるステーション昼またぎ」(12:30~40 放送内)

期 間 平成24年9月25日~12月11日 毎週火曜日 12回

出演者 平成24年度 助成金交付対象者

スポーツ関係 9名 文化関係 13名

各団体(個人)の活動状況等をリスナーに知らせる事ができた。

4 〈スポーツ〉活動助成金 広報実績のまとめの記載例

第 9号様式

広報用実績のまとめ

H24年度

団体名	邑久リーガース軟式野球スポーツ少年団		
	代表者 大原 浩二	記載者 森 俊介	
所在地(市区町村名のみ)	瀬戸内市邑久町		
活動目的	軟式野球を通じて青少年の心身の健全な育成に資する		
団体の紹介	本団は瀬戸内市邑久町内三校の小学生44名の団員、指導者及び団員の保護者により構成し24年度をスタートしました。本年度は1988年の結成以来25周年を迎え、チーム全員が全力プレー・全力疾走・全戦全勝を目標とし『全・挑戦』をスローガンに掲げ活動しています。		
助成を受けての活動内容	軟式野球のスポーツ少年団として各大会に参加させていただいております。今年度は各学年にチーム編成が可能であるほど団員の数に恵まれそれぞれの舞台において、また学年の枠を超えて幅広い活動が可能になりました。県外のチームより練習試合の要請をいただくこともあり遠征の機会も増えました。レギュラーチームは7月初めに行われた地区大会を勝ち抜き県大会の出場権をいただくことができました。つねに新たな目標に向かい努力を重ねる日々です。7月22日 B&G邑久町スポーツ公園野球場他市内三会場において結成25周年記念大会を開催いたしました。地域の方々からも温かいご厚意をいただき、また県内外の友好チームの多数のご参加をいただき盛況に終えることができました。開催にあたりマルセン財団様の活動助成金の交付に心より感謝申し上げます。		
助成を受けての成果	晴天に恵まれ子供達はユニフォームを真っ黒にしながら全力プレーでの試合を通じ相手チームの皆さんと互いの健闘をたたえ合い交流を深めることができました。マルセン財団様を始め、卒団した先輩方や地域の方々の激励をいただくことによって周りの人に支えられていることや野球が思い切りできる環境に、深く感謝の気持ちを持てることができたものと感じております。		
今後の活動の課題点	小学生の体力低下・忍耐や周りへの思いやりや感謝などによって育まれるべき人間形成の場の減少が懸念される現在、学童の野球が持つ役割の大きさは育成会一同今後の活動において大変重要であると考えます。野球だけでなくグラウンドの内外において家庭の中の自分、チームの中の自分、地域の中の自分を自覚し学びを深める機会も心がけて持つように努めてまいります。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



〈文化〉活動助成金 広報実績のまとめの記載例

第 9号様式

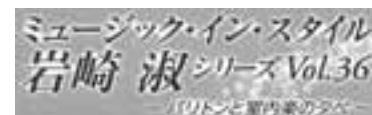
広報用実績のまとめ

H24年度

R24年度

団体名	総社市文化振興財団	代表者	理事長 荒木 政廣	記載者	小野 玲子
所在地(市区町村名のみ)	総社市				
活動目的	普段あまり耳にすることのない、本格的なクラシック音楽を聴く機会を設け、豊かな市民生活の推進に寄与することを目的とするものです。				
団体の紹介	総社市文化振興財団は、市民生活の中に芽生える幅広い文化活動を振興、助長し、個性豊かな地域文化の展開を図ることにより、心豊かな市民生活と誇り高い文化都市づくりの推進に寄与することを目的とする財団である。				
助成を受けての活動内容	『ミュージック・イン・スタイル岩崎淑シリーズVol.36 ～バリトンと室内楽のタペ～』 開催日時:平成24年11月7日(水) 18:30開場 19:00開演 開催場所:総社市民会館(総社市総合文化センター) 出演者:岩崎淑(ピアノ)、河野克典(バリトン)、 島田真千子(ヴァイオリン)、堀沙也香(チェロ) 入場料:一般 3,000円 高校生以下 1,000円 入場者数:一般 382名 高校生以下 55名 計 437名 国内外で活躍されているピアニスト岩崎淑さんをはじめとする素晴らしい演奏家をお迎えし、ヴェートーベンを主とした聴きなじみのあるプログラムで、お客様からも大変ご好評をいただきました。 「ミュージック・イン・スタイル」は、1976年から毎年開催されており、当財団の主催事業としては昨年に引き続き2回目の公演となります。様々な作曲家へ依頼した、委嘱作品の世界初演が大きな魅力となっており、根強いファンの方も大勢いらっしゃいます。				
助成を受けての成果	本格的なクラシックコンサートは、市民から「チケットが高い」「敷居が高い」といった声もありますが、「総社でもっとクラシックコンサートを開催してほしい」「有名な演奏家に来てもらいたい」との前向きな意見もいただくことができたので、今後もクラシックに限らず、様々なジャンルの舞台芸術を多くの方に知ってもらう機会を作っていきたいと思っています。				
今後の活動の課題点	クラシックコンサートに関わらず、内容が素晴らしい公演であっても、広く認知されなければ集客にはつながらないので、今後は今まで以上に広報活動に力を入れていきたいと考えております。				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)					

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。



事業の記録

1 表彰の記録

第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平	テニス競技
			川口 敬二	自転車競技の監督
			興譲館高等学校陸上競技部	陸上競技
			永木 伸児	空手道競技
			中野 真奈美	サッカー競技
			藤田 健児	ボクシング競技
	文 化	大賞	重松 清	文芸 小説
		賞	沢田 虚遊 宮内踊保存会	書道 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞		天満屋女子陸上競技部	陸上競技

第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
22.7.5	栄誉大賞		高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
	スポーツ	大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
		賞	井上 正	新体操競技 監督
			県立玉野光南高等学校陸上競技部	陸上競技
			皇后杯第28回全国都道府県対抗 女子駅伝岡山県チーム	陸上競技
	文 化	大賞	井手 康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部	ゴルフ競技
			木村 禎宏	車いすテニス競技
			山陽女子高等学校 体操部	体操競技
	文 化	大賞	平林金属男子ソフトボールクラブ	ソフトボール競技
		賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の傘踊り保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			片山 康之	美術 彫刻

第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部	ソフトボール競技
			県立新見高等学校軟式野球部	軟式野球競技
			福元 美穂	サッカー競技 GK
	文 化	大賞	宮間 あや	サッカー競技 MF
			該当者なし	
			井手 康人	美術 日本画
		賞	小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 書道

第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫	ハンドボール競技 監督
			岡山県作陽高等学校サッカー部	サッカー競技
			岡山湯郷Belle	サッカー競技
	文 化	大賞	長田 京大 牧野 吉伸	新体操競技 監督
		賞	山口 松太	ウエイトリフティング競技 監督
		賞	多胡 昭彦	漆芸
			田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	榎村 正明	ソフトテニス競技 監督
			古川 興幸	レスリング競技 監督
			森政 芳寿	陸上競技 監督
	文 化	大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
		賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアニスト 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
	特別賞		岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルズ 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技

第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
17.8 .3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹	ベンチプレス競技
			諸見里 しのぶ	ゴルフ競技
			横山 純子	陸上競技 監督
	文 化	大賞	小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 涉	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技 監督
		賞	土井 美智恵	水泳競技(マスターズ)
			藤原 佳市	体操競技 監督
			柳井 清志	ソフトボール競技 監督
	文 化	大賞	高橋 秀	現代美術
		賞	粟井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアニスト

事業の記録

2 助成の記録

第8回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円	合 計 21件 2,011,628円 累 計 171件 21,041,313円
	文 化	100万円	46件	11件	1,025,628円	

第7回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合 計 22件 2,977,020円 累 計 150件 19,029,685円
	文 化	100万円	43件	13件	1,260,000円	

第6回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合 計 25件 3,258,115円 累 計 128件 16,052,665円
	文 化	100万円	42件	14件	1,299,000円	

第5回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円 合 計 21件 2,996,410円 累 計 103件 12,794,550円
	文 化	100万円	45件	10件	1,000,000円	

第4回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合 計 21件 1,994,500円 累 計 82件 9,798,140円
	文 化	100万円	53件	11件	1,030,000円	

第3回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合 計 20件 1,962,000円 累 計 61件 7,803,640円
	文 化	100万円	27件	10件	992,000円	

第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	晴れの国おかやま国体 100万円 合 計 21件 2,988,640円 累 計 41件 5,841,640円
	文 化	100万円	24件	10件	1,000,000円	

第1回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合 計 20件 2,853,000円
	文 化	100万円	15件	9件	853,000円	

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区 分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
23	スポーツ	「第30回山陽女子ロードレース大会」協賛	23.12.23	—	—	105万円
		成通グループ(勅)マルセンスポーツ文化振興財団PRESNTS	24.3.4	—	88名	—
		東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室	24.3.10	305	46名	—
		プロ野球オープン戦チケットプレゼント	24.3.11	581	46名	—
	文 化	「第7回沙美アートフェスタ」協賛	23.5.14	—	—	10万円
		岡山県文化連盟 「文化のつどい」	23.8.22,8.24	—	—	30万円
		「川島基&松本和将スーパーピアノデュオリサイタル」	23.11.3	2,326	1,700名	217.8万円
		会場 岡山シンフォニーホール				
22	スポーツ	岡山県民俗芸能大会(協賛)	23.11.19~20	—	—	10万円
		「男子第49回女子第40回西日本学生ハンドボール選手権大会」協賛	22.7.10~14	—	—	2万円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催	22.8.5	—	92名	28.8万円
		「第29回山陽女子ロードレース」協賛	22.12.23	—	—	105万円
	文 化	女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 チケットプレゼント	23.3.13.	410	100名	25万円
		「第6回沙美アートフェスタ」協賛	22.5.15	—	—	10万円
		岡山県文化連盟 「文化のつどい」	22.8.25,8.28,9.1	—	—	47万円
		「川島 基ピアノリサイタル」チケットプレゼント	22.9.26	—	30名	10.5万円
21	スポーツ	「モネとジヴェルニーの画家たち」チケットプレゼント	23.2.25~4.10	527	300名	4.5万円
		アンデルセンミュージカル「ハンスの冒険」チケットプレゼント(成通グループ提供)	23.3.19	35	40名	—
	文 化	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」協賛	21.8.7~9	—	—	2万円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」協賛	21.8.22~23	—	—	10万円
	スポーツ	「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」協賛	21.9.25~27	—	—	10万円
		「マルセン少年バレーボール教室」山陽ふれあい体育館	21.10.18	—	85名	37万円
	文 化	「第28回山陽女子ロードレース」協賛	21.12.23	—	—	105万円
		「第5回沙美アートフェスタ」協賛	21.5.16	—	—	10万円
20	スポーツ	「朝鮮王朝の絵画と日本」チケットプレゼント	21.6.5~7.12	187通	200名	16.6万円
		絵はがき(写真コンテスト入賞作品)プレゼント	21.7.25~29募集	206通	150名	15.2万円
	文 化	論文募集	21.9.1~10.31募集	25点	7点	25.4万円
		岡山県文化連盟 「文化のつどい」	21.9.5/9.12	—	—	35万円
	スポーツ	「2009マーチング・イン・オカヤマ」協賛	21.10.11~12	—	—	10万円
		(株)NHK文化センター	22.2.21	—	—	5万円
	文 化	「アンデルセンinホテルオークラ岡山」協賛				
		「悠久への回帰 高橋秀展」チケットプレゼント	22.3.5~4.4	178	100名	8.4万円
20	スポーツ	「第31回岡山県少年剣道練成大会」協賛	20.6.7	—	—	10万円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」協賛	20.8.23~24	—	—	10万円
	文 化	「第27回山陽女子ロードレース大会」協賛	20.12.23	—	—	105万円
		「マルセン少年陸上競技教室」開催	21.3.8	—	255名	32万円
	スポーツ	「第24回全国高等学校新体操選抜大会」協賛	21.3.26~28	—	—	10万円
		「第25回全国高等学校体操選抜大会」協賛	21.3.28~29	—	—	10万円
	文 化	「第4回沙美アートフェスト」協賛	20.5.10	—	—	10万円
		「おかやま国際音楽祭2008」チケットプレゼント(成通グループ提供)	20.10.4	444通	100名	—

事業の記録

年度	区 分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
19	スポーツ	「第30回岡山県少年剣道練成大会」協賛	19.6.9	－	－	10万円
		「第26回山陽女子ロードレース大会」協賛	19.12.23	－	－	105万円
		「第56回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	20.2.11	－	－	10万円
		「マルセン少年サッカー教室」開催～湯郷Belleの選手を招いて～岡山ドーム	20.3. 8	－	207名	43万円
	文 化	「第3回沙美アートフェスト」協賛	19.5.12	－	－	10万円
		くらしきウイーク 2007 in Kansas City 協賛	19.7.25～8.1	－	－	10万円
		岡山県文化連盟「文化講演会」協賛「書道」「美術」「シンポジウム」	19.9.9-15-23	－	－	35万円
		第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」 「生涯学習見本市」へ出展 桃太郎アリーナ	19.11.2～6	県総合グランド 入場者 17万2千人		48万円
	スポーツ	「第25回山陽女子ロードレース大会」協賛	18.12.23	－	－	105万円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	19.2.11	－	－	10万円
18	文 化	「ポスト国体・フラワーロード事業」協賛	－	－	－	10万円
		「第2回沙美アートフェスト」協賛	18.5.13	－	－	10万円
		「川島 基ピアノリサイタル」開催	18.11.3	431通	200名	約40万円
		コミュニティライブラリーの開設	18.8.4～19.2.16	－	－	－
17	スポーツ	岡山桃太郎アリーナ落成記念「オリンピックメダリスト体操競技演技会」協賛	17.6.5	－	－	21万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」協賛	17.12.23	－	－	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	18.2.11	－	－	10万円
	文 化	松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタベ」チケットプレゼント (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	－	100名	30万円
		岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」チケットプレゼント	17.10.21～12.18	452件	100名	9万円
		「あそべる!おもちゃ展」 協賛 (岡山デジタルミュージアム)	18.2.17～22	－	－	10万円
16	スポーツ	「第23回山陽女子ロードレース大会」協賛	16.12.23	－	－	105万円
	文 化	岡山フィルハーモニック管弦楽団 第26回定期演奏会 チケットプレゼント	17.3.11	710件	100名	36万円

平成23年度 収支計算書				(平成23年4月1日 ～平成24年3月31日)
				(単位:円)
科 目		予算額	決算額	
Ⅰ 事業活動収支の部	1 事業活動収入			
	①基本財産運用収入	150,000	40,109	
	基本財産利息収入	150,000	40,109	
	②特定資本運用収入	0	0	
	③入会金収入	0	0	
	④会費収入	0	0	
	⑤事業収入	77,182,000,000	75,843,595,567	
	景品売上	77,000,000,000	75,665,238,460	
	景品手数料収入	182,000,000	178,357,107	
	⑥補助金等収入	0	0	
	⑦負担金収入	0	0	
	⑧寄付金収入	13,070,000	10,000,000	
	寄付金収入	13,070,000	10,000,000	
	⑨雑収入	0	477,204	
	受取利息収入	0	929	
	雑収入	0	476,275	
	⑩繰入金収入	0	0	
	事業活動収入計	77,195,220,000	75,854,112,880	
	2 事業活動支出			
	①事業費支出	77,011,350,000	75,676,215,490	
	表彰事業費支出	4,700,000	4,436,429	
	助成事業費支出	2,100,000	2,007,837	
	イベント事業費支出	4,000,000	4,117,443	
	広報啓発事業支出	550,000	415,321	
	景品仕入	77,000,000,000	75,665,238,460	
	②管理費支出	183,870,000	181,777,546	
	給与手当支出	2,800,000	2,837,600	
	法定福利費支出	100,000	95,220	
	広告宣伝費支出	40,000	38,096	
	荷造運賃支出	150,000	151,786	
	支払手数料	173,600,000	170,790,577	
	事業引当金支出	0	0	
	諸会費支出	20,000	10,000	
	接待交際費支出	200,000	199,368	
	旅費交通費支出	430,000	471,815	
	通信費支出	300,000	268,417	
	消耗品費支出	200,000	252,555	
	租税公課	0	71,800	
	減価償却費支出	20,000	0	
	地代家賃支出	3,000,000	3,000,000	
	修繕費支出	10,000	5,000	
	雑支出	3,000,000	3,585,312	
	③繰入金支出	0	0	
	事業活動支出計	77,195,220,000	75,857,993,036	
	事業活動収支差額	0	△ 3,880,156	
Ⅱ 投資活動収支の部	1 投資活動収入			
	①基本財産取崩収入	0	0	
	②特定資産取崩収入	0	0	
	③固定資産売却収入	0	0	
	④投資有価証券売却収入	0	0	
	⑤敷金・保証金戻入収入	0	0	
	投資活動収入計	0	0	
	2 投資活動支出			
	①基本財産取得支出	0	0	
	②特定資産取得支出	0	0	
	③固定資産取得支出	0	0	
	④投資有価証券取得支出	0	0	
	⑤敷金・保証金支出	0	0	
	投資活動支出計	0	0	
	投資活動収支差額	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部	1 財務活動収入			
	①借入金収入	0	0	
	財務活動収入計	0	0	
	2 財務活動支出			
	①借入金返済支出	0	0	
	財務活動支出計	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	
		0	0	
		0	0	
		0	0	
Ⅳ 予備費支出	当期収支差額	0	△ 3,880,156	
	前期繰越収支差額	6,974,359	6,974,359	
	次期繰越収支差額	6,974,359	3,094,203	

貸借対照表

(平成24年3月31日 現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	2,349,207	6,548,345	△ 4,199,138
未収金	16,562,537	15,894,657	667,880
仮払金	0	295,050	△ 295,050
前払費用	26,250	199,150	△ 172,900
流動資産合計	18,937,994	22,937,202	△ 3,999,208
2 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	463,557	463,557	0
その他固定資産合計	463,557	463,557	0
固定資産合計	100,463,557	100,463,557	0
資産合計	119,401,551	123,400,759	△ 3,999,208
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	16,300,490	16,420,222	△ 119,732
預り金	6,858	6,178	680
流動負債合計	16,307,348	16,426,400	△ 119,052
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	16,307,348	16,426,400	△ 119,052
III 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	3,094,203	6,974,359	△ 3,880,156
正味財産合計	103,094,203	106,974,359	△ 3,880,156
負債及び正味財産合計	119,401,551	123,400,759	△ 3,999,208



平成24年度 マルセン9号
発行日／平成25年3月
発行所／財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
所在地／〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号
電 話／(086)800-0077 ファックス／(086)800-0055
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>
(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)